野　田 小学校

所在地	〒553-0005 福島区野田 5-13-22
電話番号	6461-0520
標準服	有り
校長名	石崎　厚史
ホームページ	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e531062

学校概要

○学校経営の重点「学びの実感に満ちた教育活動の創造」
○PTA の目標「結～育み、励まし、見守って明るく思いやりのある「のだっこ」を育てよう!」
☆「地域・保護者・学校」三者の絆を深めるふれあい活動を大切にしています。

沿革

明治30年　第二西野田尋常小学校として開校
昭和17年　芦分国民学校を本校に併合
昭和22年　大阪市立野田小学校と校名を変更
昭和32年　学校給食優良校として文部大臣賞を受賞する
昭和57年　講堂棟完成（特別教室　屋上プール）
平成24年　北校舎完成
平成25年　創立 110 周年を迎えた
令和 3 年　第 59 回　社会科全国大会　会場

児童数（令和 5 年 5 月 1 日現在）

学年	男子	女子	計	学級数
1	41	32	73	2
2	36	33	69	2
3	41	35	76	3
4	48	34	82	3
5	33	36	69	2
6	51	48	99	3
特別支援学級				6

令和 4 年度全国学力・学習状況調査および、全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学力・学習状況

国語	算数	理科
67	64	67

（平均正答率%）小学 6 年生

これまでの成果と今後の課題

子どもが学びの実感をもつことができるように、昨年度までと同様に引き続き社会科・生活科を研究教科として授業改善に取り組みます。ＩＣＴも十分に活用し、子ども自ら動く授業をめざします。さらに、授業の土台となる学級そのものを見直し、ひとりひとりに居場所がある学級を目指します。

体力・運動能力、運動習慣

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	17.60	19.10	33.50	39.20	47.90	9.41	158.00	20.50	52.80
女子	17.50	18.80	37.30	37.10	36.50	9.71	150.40	12.90	55.50

（平均値）小学 5 年生

これまでの成果と今後の課題

昨年度の調査では、反復横跳び以外は全国平均を上回っていました。そのため、俊敏な動きを中心とした運動を積極的に取り入れるなど、「楽しい」と感じることができる体育の授業を実践することが今後の課題です。

自他を尊重し、互いに励まし合い高め合う

令和５年度　野田小学校の教育

学校教育目標

「創造性・自主性を身につけ、人間性豊かな子どもを育成する」

めざす子ども像

知　よく考え、ねばり強くやりぬく子ども

課題解決に意欲をもって取り組み、進んで表現する。

○基本的な学習態度を身に付けさせると共に、基礎基本の確かな定着を図る。
○自ら課題を見つけると共に、見通しをもって学習し、粘り強く課題解決に取り組むことのできる力や態度を育成する。

徳　思いやりをもち、助け合う子ども

自他を尊重し、互いに励まし合い高め合う。

○自らの良さを知り、互いを認め合うことのできる力や態度を育成する。
○よりよい関係を築くコミュニケーション能力を育成する。
○同年齢や異年齢の集団活動を通し、協力して活動する喜びを感じ取り、仲間を大切にしようとする心情・態度を育成する。

体　体と心を鍛える子ども

自分の健康に関心を持ち、進んで健康的な生活を送る。

○体育科授業、体育的行事、保健指導等を通し、進んで体力づくりに努める意欲・態度を育成する。
○給食指導の充実を図ると共に栄養についての関心を高め、よりよい食生活のできる実践力を育成する。

学校経営の重点

“学びの実感”に満ちた教育活動の創造

「運営に関する計画」（抜粋）

安全・安心な教育の推進

○「いじめは、どんな理由があってもいけないと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を100%にする。
○「人を傷つけることをしているのを見たり、聞いたりするのを許せない」「困っている人を見たら、進んで助ける」に対して、肯定的な回答率を100%にする。
○「学級や学校は、安全で居心地の良い場になっている」に対して、肯定的回答率を95%にする。

未来を切り開く学力・体力の向上

○小学校学力経年調査における「授業の中で目標が示されていたり、自分で目標を立てたりしていたと思いますか」への肯定的回答率を70%以上にする。
○小学校学力経年調査における「学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して「思う」と回答する児童の割合を 50%にする。
○小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることが好きですか」に対して「好き」と回答する児童の割合を60%にする。

学びを支える教育環境の充実

○校内調査における「自分の PC を授業で使っていますか」という問いに対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
○小学校学力経年調査における「デジタルドリルを使った学習は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

自ら考え、話し合う活動

みんなで公園をきれいにお掃除します。

やった!ダブルダッチ!跳べました。